

野口英世 **細菌学者。渡米し、梅毒スピロヘータで大成果、アフリカで黄熱病の研究開始直後に感染し没した。**

のぐちひでよ

三つの反乱・1876 = 福島県三ツ和村(猪苗代湖畔)で、貧しい農家野口佐代助・シカの長男に生まれる。幼名清作。

大久保暗殺・1878 = 2歳： **囲炉裏に落ちて火傷をし左手指が癒着，**

明治14年政変1881 = 5歳：

岩倉具視没・1883 = 7歳：三ツ和小学校に入学。

内閣発足・1885 = **9歳：**

子供時代に"てんぼう"といじめられ、母から学問で身を立てるように言われ，

初の対等条約1888 = 12歳：この年、磐梯山が大噴火。

帝国憲法発布1889 = 13歳：恩師の勧めで、猪苗代高等小学校に入学。

大本教・1892 = 16歳：**アメリカ帰りの医師渡部鼎に、指の切り離し手術を受けて、医学を志すようになる。**

郡司千島探検1893 = 17歳：4年間に首席で通して、卒業。**渡部鼎の医院に入門し、薬局生として、医学・英仏独語を学び，**

日清戦争始・1894 = **18歳：**

白馬会・1896 = 20歳：上京して、**医術開業前期試験に及第、高山歯科医学院の学僕となり，**

八幡製鉄始・1897 = 21歳：**済生学舎に入る。医術開業後期試験に及第、ただちに高山歯科医学院講師となり、順天堂医院助手，**

子規句歌革新1898 = 22歳：**伝染病研究所助手に採用され、北里柴三郎のもとで細菌学の研究に入る。小学校恩師夫人の看護で帰省中、英世と改名。**

Bushidou・1899 = 23歳：**来日したフレクスナー博士の案内役をして、海港検疫医となって清国国際予防委員会中央医院に勤務後，**

ピアノ産化・1900 = 24歳：**アメリカに渡り，**

田中正造直訴1901 = 25歳：**フレクスナーの厚意により、ペンシルベニア大学で病理学助手となる。**

日比谷公園・1903 = **27歳：****デンマークに留学、国立血清研究所に入り、ここでの業績により，**

日露戦争始・1904 = 28歳：***アメリカのロックフェラー医学研究所に助手として入所し、ヘビ毒に関する研究を継続する。**

日露戦争終・1905 = 29歳：

韓国反日暴動1907 = 31歳：**ペンシルベニア大学よりMaster of Scienceの学位。**

伊藤博文暗殺1909 = 33歳：アメリカで、「毒蛇」を出版。

大逆事件判決1911 = 35歳：メリー・ダージスと結婚。**京都帝国大学より医学博士号。梅毒スピロヘータの純粋培養に成功。**

明治天皇没・1912 = **36歳：**

大正政変・1913 = 37歳：***進行麻痺・脊髄癆が梅毒スピロヘータに起因することを確かめ、世界的学者となる。欧州各国を講演旅行し、スペイン・デンマークから勲章。**

第一次大戦始1914 = 38歳：**東京帝国大学より理学博士号。ロックフェラー研究所部長に昇進，**

21ヶ条要求・1915 = 39歳：**梅毒スピロヘータの研究に対して帝国学士院から恩賜賞が授与され、15年ぶりに帰国。**

ノーベル賞候補にも3度なった。

本格政党内閣1918 = 42歳：母が死去。***エクアドルに出張、同地方流行の黄熱の原因調査に従事し、黄熱病の原体を発見。この功で同国名誉陸軍軍医監に任ぜられた。**

原敬首相暗殺1921 = **45歳：**

関東大震災・1923 = 47歳：父が死去。帝国学士院会員に推された。黄熱病研究のため、ブラジルに出張。

円本時代始・1926 = 50歳：**オロヤ熱病原体を発見。黄熱病の研究のため、アフリカに出張し，**

共産党事件・1928 = 52歳：***アクラで研究中感染し、没した。**

ロックフェラー図書館入口には英世とロックフェラー3世の胸像が対になって並んでいるという。